

山口新聞

平成25年6月28日(金)

NO.61

農地・水・環境

守ろう地域の手に



⑥1

83年に町無形民俗文化財第1号、2000年に山口県無形民俗文化財にそれぞれ指定された。

その神舞の里を守ろう

と、農地・水環境保全向上対策で大波野環境保全隊を設立して2期目の取り組み

となる。

当地区は水利に乏しく、先人の手掘りによるため池は今も大切な財産として、年間数回の草刈りなどに汗を流し、保全管理を行っている。

また、月一度のペースで環境保全についての話し合いの場を設け、みんなが安心して暮らせる地区を目指している。

今後も神舞の里が緑豊かなほ場とともに存続していくことを願って、地区の環境保全に励んでいきたい。

(代表、小野秋生)

— 金曜日掲載 —

大波野環境保全隊 (田布施町)

大波野神舞の里を守る

大波野地区では、江戸時代中頃からといわれる「大波野神舞」が伝承されている。

舞の所作の中には、農民仕事を彷彿させるものがある。兼業化で農家を継ぐ若い人が減少し、一時期は大



① 上会員の皆さん
② 江戸時代から伝承されている大波野神舞

【Xモ】代表 小野秋生
▽ 会員 150人、農家(75戸)、自治会、大波野耕地整理組合、東田布施小学校PTA、田布施土地改良区など
▽ 設立 2007年8月20日
▽ 連絡先 田布施町大波野990、小野秋生さん
0820・524029